

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8295
担当部課名	保健所	中央保健センター	所	保健指導 班
事務事業名	保健と福祉のライブラリー経費		事業コード	12210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12年度
施策名	第1施策	自ら行う健康づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市保健所及び保健センター条例
相模原市保健所及び保健センター条例施行規則

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
保健福祉の向上を図るため、保健・福祉・医療関係図書を集積し、市民に情報を提供するとともに、点字・録音図書等を備え視覚障害者の需要に応える。	市内に居住する者、市内に在勤し、又は在学する者等。なお、図書館相互利用により町田市民等も
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
登録者数 721人(うち視覚障害者 172人)、貸出者数 一般図書7,357人、ビデオ901人、拡大図書4人、点字図書・雑誌 173人、録音図書・雑誌3,196人、貸出数 一般図書16,519冊、雑誌1,434冊、ビデオ2,091本、拡大図書11冊、点字図書・雑誌258冊	(総合計画) 自ら行う健康づくり ・健康・福祉ライブラリーの設置(再掲) バリアフリーによる福祉のまちづくり ・健康・福祉ライブラリーの設置
需用費 162千円 役務費 564千円 委託料 9,574千円 使用料及び賃借料 614千円 備品購入費 6,993千円	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次
	年度~ 年度
	なし

4 評価指標

指標名	保健と福祉のライブラリー図書・ビデオ収蔵目標達成率	保健と福祉のライブラリー図書・ビデオ等貸し出し目標件数達成率
指標式	保健と福祉のライブラリー図書・ビデオ収蔵数/保健と福祉のライブラリー図書・ビデオ収蔵目標数×100	貸し出し件数/貸し出し目標件数×100
指標設定の意図	達成率により成果を表す。	達成率により成果を表す。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標		18,512.0	a 20,662.0	b 20,000.0		
指標		19,948.0	c 25,252.0	d 25,000.0		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	18,437	17,905	18,663	11,154	
	人員・時間数	(12時間)	(12時間)	(12時間)	(12時間)	
	人件費	50	50	50	50	
	その他経費	0	0	0	0	
	合計	0	18,487	17,955	18,713	11,204
特定財源		0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 102.2%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{20,662.0}{20,000.0} \times 100 = 103.3\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{25,252.0}{25,000.0} \times 100 = 101.0\%$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由:			

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由:	視覚障害者サービスの一環である録音図書やデージー図書(デジタル録音図書)の充実に向けた更なる取り組みが求められている。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	保健と福祉のライブラリーは、施設管理運営を相模原市社会福祉協議会に委託しており、効率的な運営が図られている。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	図書館のネットワーク化、広域化により、県、民間との役割分担のみ直しが求められているが、規模や費用対効果の面からも代替の可能性は低い。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	専門ライブラリーとして、選書の相談等に専門性が求められている。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	保健と福祉の専門書を収蔵した全国的にも先例のないライブラリーであり、本市の保健福祉行政を推進するうえでも有効である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 保健と福祉のライブラリーは、施設管理運営を相模原市社会福祉協議会に委託しており、効率的な運営が図られている。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 保健と福祉のライブラリー経費をこれ以上、圧縮することは困難である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	保健と福祉のライブラリーは、平成13年度をもって図書・ビデオの収蔵目標数を達成したが、今後は、専門ライブラリーとして更なる充実を目指すため、社会福祉協議会、図書館、保健福祉関係各課と調整する必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--